

林業技術センター
普及班便り
(第43回)

いわての林業人 22

はじめに

今月の普及班便りでは、洋野町の素材生産事業体、丸大県北農林で働く、元氣いっぱいの方森清さんをご紹介します。

参加から現在まで

方森さんが丸大県北農林に就職したのは2年前。以前は家の仕事の漁業を手伝っていましたが、海・山に関係した仕事に就きたいと希望しました。入った当初は現場でハーベスタ（立木の伐倒、枝払い、切断をこなす高性能機械）を見て、林業分野



方森清さん

で想像以上に機械化が進んでいることに驚いたそうです。以来、「常に一杯、仕事をしている。」とのこと。現在は、作業全体の段取り、トラックの運転、重機の操縦から、チェーンソーもこなすマルチワーカーですが、最初はもちろん機械が使えず、毎日時間が空いているときに、とにかく動かしてみても覚えたとのことでした。

仕事をしてみて

お客さんから作業を頼まれるときに、「前にも丸大さんに頼んだので、また同じように仕上げて欲しい」と言われることが嬉しいそうです。目標は、5〜10年後に、自分で山を仕入れられるようになること。仕入れで難しいのは、材積の見積もりなので、今はその修業中とのことでした。



お客さんの山で調査中

社長の大粒来さんも、「これからは仕入れも覚えて欲しいので、今は業務の全体を覚えて貰っている」と、期待しているようでした。また、「とにかく事故と怪我に気を付ける。自分が危ない目に遭ったら、それを後輩や同僚に教えるようにしている」と、真剣な顔で話っていました。

人とのつながり

会社について、方森さんは、「とにかく活気があり、いいメンバーが集

まっている」と、満足しているようでした。事務所にお邪魔した日は雨で、伐採作業はお休みのようでしたが、若い人が始終、打ち合わせに入りし、「うちの若い人達は、とにかく稼ぐ」と大粒来さんも話すとおり、活気に溢れていました。趣味は長距離走という方森さん。今後も息長く、林業業界を走り続けてください。

林業技術センター普及班

019(698)1337